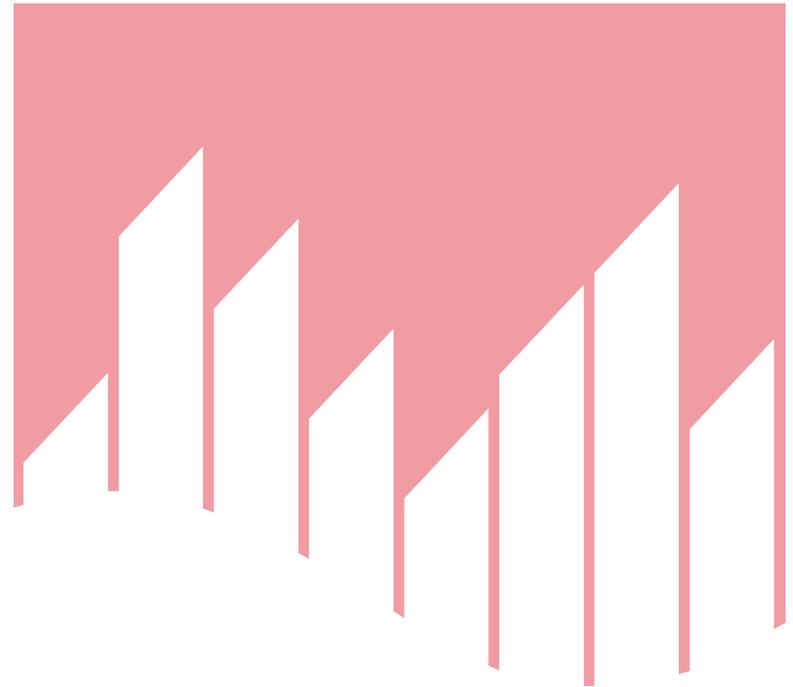
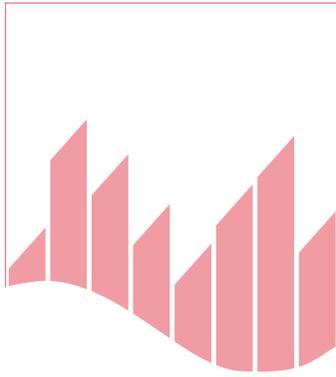


2025 年度版

PC道路橋工事費実績



ま え が き

当協会では計画初期の構造物選定などの参考資料として、「P C道路橋工事費実績」を発行しております。

今年度も引続き2025年度版を発行致しますが、本資料は過去5年間(令和2年(2020年)度～令和6年(2024年)度)の受注物件について実績を調査し、その結果をグラフに表わしたものです。

今後も毎年調査を行い、常に直近5年間のデータを使用して改訂版を発行する予定であります。

何卒大いに御利用賜りたいと存じます。

今後共、尚一層のP C橋へのご理解を賜りますよう御願ひ申し上げます。

一般社団法人
プレストレスト・コンクリート建設業協会

目 次

I	「工事費実績」グラフ使用にあたって	1
II	「工事費実績」グラフの見方	2
III	「工事費実績」グラフ	4
III-1	プレテンション方式床版桁橋	4
III-2	プレテンション方式T桁橋	7
III-3	ポストテンション方式中空桁橋(セグメント桁).....	11
III-4	ポストテンション方式T桁橋(セグメント桁).....	14
III-5	PCコンポ橋(セグメント桁)	18
III-6	バイプレストレッシング桁橋(桁高制限桁)	22
III-7	ポストテンション方式場所打中空床版橋	23
III-8	ポストテンション方式場所打箱桁橋	24
III-9	片持架設橋	25

I 「工事費実績」グラフ使用にあたって

① この「工事費実績」グラフは、令和2年(2020年)度から令和6年(2024年)度の5ヶ年間のPC道路橋受注実績を基本としており、消費税は含まれていません。(落札率は反映されております。)

② 「工事費実績」グラフは、PC道路橋上部工の橋体工のみ(橋面工含まず)の諸経費を含んだ単位橋体面積当り単価で表しています。

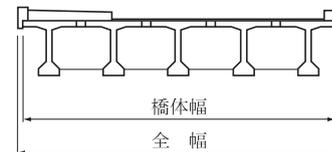
$$\text{橋体面積当り単価} = \{\text{直接工事費(橋体工のみ)} + \text{間接工事費} + \text{一般管理費}\} / \text{橋体面積}$$

注) 橋体面積 = 橋体幅 × 橋長

橋体面積を全幅 × 橋長 とする場合は、橋体面積当り単価はグラフより5%程度減となります。

③ 掲載橋梁種別

- a) プレテンション方式床版桁橋
- b) プレテンション方式T桁橋
- c) ポストテンション方式中空桁橋(セグメント桁)
- d) ポストテンション方式T桁橋(セグメント桁)
- e) PCコンボ橋(セグメント桁)
- f) パイプレストレスング桁橋(桁高制限桁)
- g) ポストテンション方式場所打中空床版橋
- h) ポストテンション方式場所打箱桁橋
- i) 片持架設橋



④ 掲載した物件の有効幅員は、全橋梁共8.0m~12.0mの範囲のものです。概ね広幅員が低位を占め、狭幅員が高位を占める結果となっています。

⑤ 掲載した橋梁の架設工法は下記の通りです。

橋梁種別	架設工法	備考
プレテンション桁橋	トラッククレーン架設	橋台背面・橋梁下
ポストテンション桁橋(セグメント桁)	架設桁架設・トラッククレーン架設	
PCコンボ橋(セグメント桁)	架設桁架設・トラッククレーン架設	
パイプレストレスング桁橋	架設桁架設・トラッククレーン架設	I桁、中空桁
ポストテンション場所打桁橋	固定支保工	
片持架設橋	片持架設用移動作業車	

⑥ 2025年度版については、2022年度実績データより労務費、賃料及び共通仮設費、現場管理費に4週8休補正が適用されているため、工事費実績が上昇しています。

⑦ ポストテンション方式T桁橋(現場製作桁)は、受注実績が非常に少ないため2023年度版より掲載を取りやめました。